



MB1



**META BITCOIN
SUPER**



—MBTCs

エコフレンドリーグローバルメタバース

はじめに

MBTCsは時空間が消えた仮想空間で社会、経済、文化、教育、ゲームなどすべての領域を網羅し、世界中の人々が参加して人・物事が相互作用し、多様なコミュニケーションをとるUAEのグローバルメタバースエコシステムを構築しようとする。

そのため、UAEの地価が安い砂漠地形が国土の80%を占める地理的特性と年間日射量の高い(2,285kWh/m²) 気候的な要件の基盤の上に、エコフレンドリー太陽光である、再生可能エネルギーを活用して本プロジェクトを推進しようとする。

全体のエコシステムは太陽光再生エネルギー活用、エコフレンドリーマイニングシティー構築、ドバイ協力取引所のグローバル化、MBTCs仮想通貨開発・運営、メタバース仮想空間構築、仮想空間で発生するデータのビッグデータ化及び人工知能分析・活用などで構成されている。

この文書はMBTCの理論的、技術的な基盤とメカニズムを説明している。



[目 次]

I . Introduction	3
II . Problem Statement	4

2.1 2050 カーボンニュートラル	4
2.2 仮想通貨採掘の環境汚染	5
III. MBTCs Solution	8
3.1 UAEにエコフレンドリーブロックチェーンメタベースエコシステムを構築	8
3.2 エコフレンドリー太陽光再生エネルギーの活用	9
3.3 UAEマイニングシティ構築	10
3.4 MBTCsの価値向上と流動性供給及びドバイ協力取引所のグローバル化	12
3.5 グローバルメタベース構築によるMBTCsエコシステムの拡張	13
3.6 グローバルマルチマイニングプロジェクト	14
IV. Blockchain	19
4.1 バイナンスメインネットスマートチェーン(BSC)	19

V. Token Distribution Plan	23
VI. Foundation	24
VII. Disclaimer	25



I . Introduction

産業革命により急速に発展した人類は、眩しい発展とともに化石燃料に対する需要と依存が幾何級数的に高まったこれは人類に豊かな生活を営むことができるようにしてくれたが、化石燃料への依存は埋蔵量が限られているという限界とともに、大気汚染・地球温暖化を含めて、様々な環境問題を誘発するなど多くの問題点を抱えている。

このような化石燃料の使用に関する問題は、国際社会で本格的に話題になっているスウェーデン(2017)、イギリス、フランス、デンマーク、ニュージーランド(2019)、ハンガリー(2020)など6カ国が「カーボンニュートラル」を法制化し、ヨーロッパ、中国、日本、韓国など主要国もカーボンニュートラル目標を宣言したこのような流れによって、国際社会での安全なエネルギー確保は、国家の成長と発展はもちろん、国民の実生活と直結した事案であるため、各国の政府は先に争ってエネルギー産業を育成し、エネルギー源確保のための努力を広げている。

このようなエコフレンドリー政策は、ブロックチェーンの仮想通貨採掘にも影響を与えている仮想通貨を採掘する際には、複雑な演算を計算した代価で補償を受けることになるが、この過程で大量の電力を消費することになり、このような電力は化石燃料を通じて生産されるため、仮想通貨採掘と気候変動の関連性について活発に研究されているこれにより多くの国家が自国での採掘を禁止する政策を広げている。

しかし現在、ブロックチェーン、メタバースなど仮想通貨を活用する産業は日々発展しており、産業

を禁止する方向よりもこれらのデメリットを補完し発展させるために努力しなければならない MBT CsはUAE（アラブ首長国連邦）の地理的特性と気候要件を活用して太陽光を通じてエコフレンドリーマイニングシティを構築し、マイニングシティで採掘される仮想通貨を通じてUAEグローバルメタバースエコシステムを構築、メタバースで発生するデータをビッグデータ化や人工知能分析などに活用する計画を持っている。



II. Problem Statement

2.1 2050 カーボンニュートラル

1) カーボンニュートラルとは？

人類が活動しながら生じる温室効果ガスの排出を最大に減らし、排出される温室効果ガスは森林などを通じて吸収、残った温室効果ガスは二酸化炭素捕集、貯蔵など技術を通じて除去して実質的な排出量がゼロになるという概念だすなわち、排出される炭素と吸収される炭素量を同じにして炭素「純排出0」になるようにすることで、このようなカーボンニュートラルを「ネットゼロ (Net-Zero)」と呼ぶ。

2) カーボンニュートラルの必要性

国際社会は、気候変化の問題の深刻性を認識し、これを解決するために先進国に義務を付与する「京都議定書」の採択（1997年）に続き、先進国と開発途上国が共に参加する「パリ協定」を2015年に採択し、国際社会の積極的な努力で2016年11月4日協定が発効したパリ協定の目標は、産業化以前の地球の平均温度上昇を2℃よりはるかに下に(well below)維持し、さらに1.5℃に抑えるために努力しなければならないことである地球の温度が2℃以上に上昇する場合、爆炎、寒波など普通の人間が耐えられない自然災害が発生する上昇温度を1.5℃に制限する場合、生物多様性、健康、生計、食料安全保障、人間の安全保障および経済成長のリスクが2℃より大幅に減少する地球温度上昇を1.5℃以内に抑えるために、2050年までに炭素純排出量が0となるカーボンニュートラル社会への転換を目指し、国際社会が共に協力している。

区分	1.5℃	2℃
エコシステム及び人間系	高い危険	非常に高い危険
中緯度猛暑温度	3℃上昇	4℃上昇
高緯度の猛暑温度	4.5℃上昇	6℃上昇
珊瑚消滅	70~90%	99%以上
気候影響・貧困脆弱人口	2℃から2050年まで最大数億人増加	
水不足の人口	2℃から最大50%増加	
大規模な気象変動の危険性	中間危険	中間~高い危険
海面上昇	0.26~0.77m	0.3~0.93m
北極海水完全消滅頻度	100年に1回	10年に1回

[図1] - 温度上昇による主な影響の比較 *出典：韓国2050カーボンニュートラル戦略（LEDS）

区分	韓国	ヨーロッパ	日本	中国	アメリカ
カーボンニュートラル	2050	2050	2050	2060	2050
代表政策	2050 カーボンニュートラル 推進計画	Green Deal	脱炭酸実験計画	Zero Carbon China	Clean Energy Revolution
主要目標	・カーボンニュートラル -経済成長- 生活の質の向上を同時達成	・経済の構造的変化による 炭素中立及び地球温暖化 への対応	・脱・炭素社会の実現 ・経済・環境の好循環基盤の 長期成長実現	・準炭素中立システムの構築 ・2060炭素中立のための低 炭素経済転換	・環境にやさしいエネルギー -インフラの拡大 ・景気浮揚と雇用創出
主要育成分野	・エネルギー効率の改善 ・グリーン・モビリティ ・再生可能エネルギー ・グリーン産業 ・建物エネルギー ・生態系の回復	・再生可能エネルギー ・グリーン産業/輸送 ・リハビリ用/循環経済 ・グリーン・モビリティ ・建物エネルギー ・エネルギー効率	・再生可能エネルギー ・グリーン・モビリティ ・グリーン産業 ・省エネ ・ブルーカーボン	・再生可能エネルギー ・エネルギー効率 ・最終消費エネルギーの電 気化 ・ゼロ炭素発電 ・エネルギー貯蔵 ・デジタル化	・再生可能エネルギー ・電気自動車 ・建物エネルギー ・グリーン産業 ・ゼロ炭素発電

[図2] - 主要国カーボンニュートラル政策要旨 *出典：環境部（2021年基準）

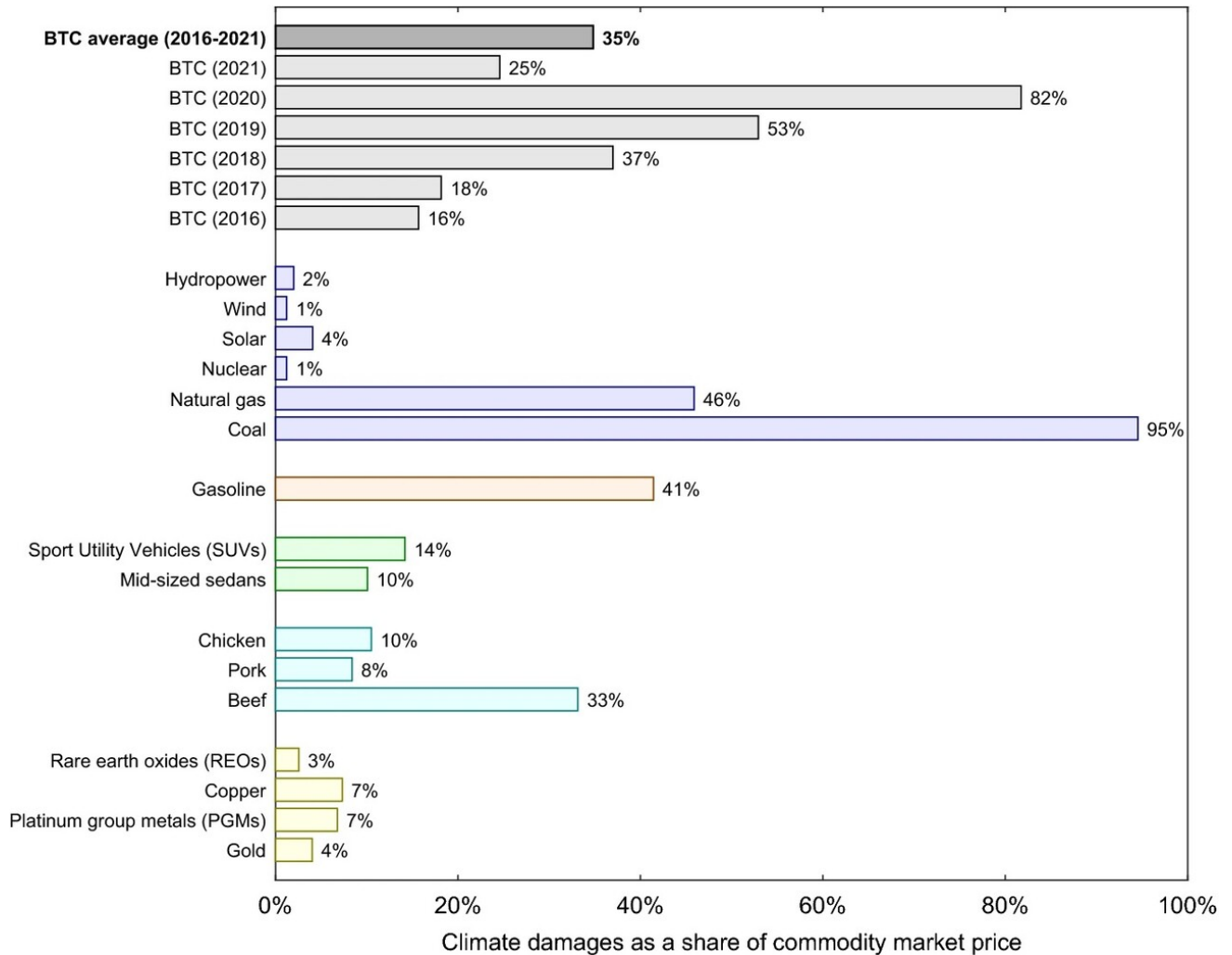
2.2 仮想通貨採掘の環境汚染

1) POW（作業証明）掘方式の過熱

現在、POW採掘方式を採用した仮想通貨にはビットコイン、ライトコインなどがあるPOW採掘方式は複雑な演算を計算した代価でコインを得て、この過程で大量の電気を消費することになる全世界の仮想通貨市場の40%以上を占めるビットコイン採掘のために、2020年の1年間75.4 TWhの電力を消費したこれは、同年のオーストリア（69.9 TWh）とポルトガル（48.4 TWh）の電力使用量よりも高い数値に該当する

このような採掘に使用される電力は、ほとんどが化石燃料を使用することになり、コイン採掘に伴う高い気候コストを発生させ、炭素排出を加速化するため、国際社会で鋭意注視している

ビットコインを基準に気候コストをエネルギー発電、車両製造、肉生産、貴金属採掘などで発生した気候コストと比較してみると、市場価値当たりのビットコインの気候コストは2020年82%に達し、2016～2021年ビットコインの市場価値当たりの平均気候コストは平均35%に達したこれらの平均気候コストは、33%の牛肉、46%の天然ガスと同様の割合である



【図3】 - 商品別市場価格で占める気候被害

2) 代替であるPOS（持分証明）採掘方式の問題点

POW採掘方式の問題点を克服するために様々なトライ求められ、その対案として出てきた方式がPOS方式であり、これは現在最もほとんどの仮想通貨が採用する採掘方式である資源消耗的な採掘方式の代わりにアルゴリズムを通じて過熱する採掘競争と資源ロスの問題を防止するには成功したが、アルゴリズムの特性上、少数の参加者が大部分の持分を確保することで参加者拡張に対する指摘を受け続けていた

ブロックチェーンネットワークが信頼性を高めるためには、ネットワークに参加するノードが多くなければならず、このように多くの参加者がいるブロックチェーンネットワークは高いセキュリティ性と信頼性を持つことになる。POW方式は、新しいブロックが生成されるたびに乱数関数に従って配分されるため、持続的な参加者が生成されるが、POS方式の場合、既存の参加者の持分に応じて補償を与えるために、ブロックチェーンネットワーク参加者の拡張には明確な限界があり、脱中央化を目指すブロックチェーンの価値追求とは反対に資本の論理が適用され、巨大資本の独占問題が発生する可能性があるため、完全な代案にはならない。

3) POW方式に対する国際社会の動き

仮想通貨と環境破壊に対する関心が高まり、2022年04月にカザフスタンの国営送電網公社は仮想通貨採掘業者に電力供給を中断することもあり、EUではPOW方式の仮想資産サービスを禁止する内容を盛り込んだ「MiCA法案」を発表した。

この法案は反対34票、賛成24票で否決されたが、ビットコインの環境問題が公式に議論されたということに大きな意味を持っている。POW採掘の過半数以上を占めているビットコインは、日々アルゴリズムによる難易度が上がり、演算過程が複雑になり、このために再び高性能のリソースが使用され、その結果、使用される電力量が上がっていくことで、採掘業者への環境破壊に対する代案を求める声は絶えず続いている状況である。



Ⅲ. MBTCs Solution

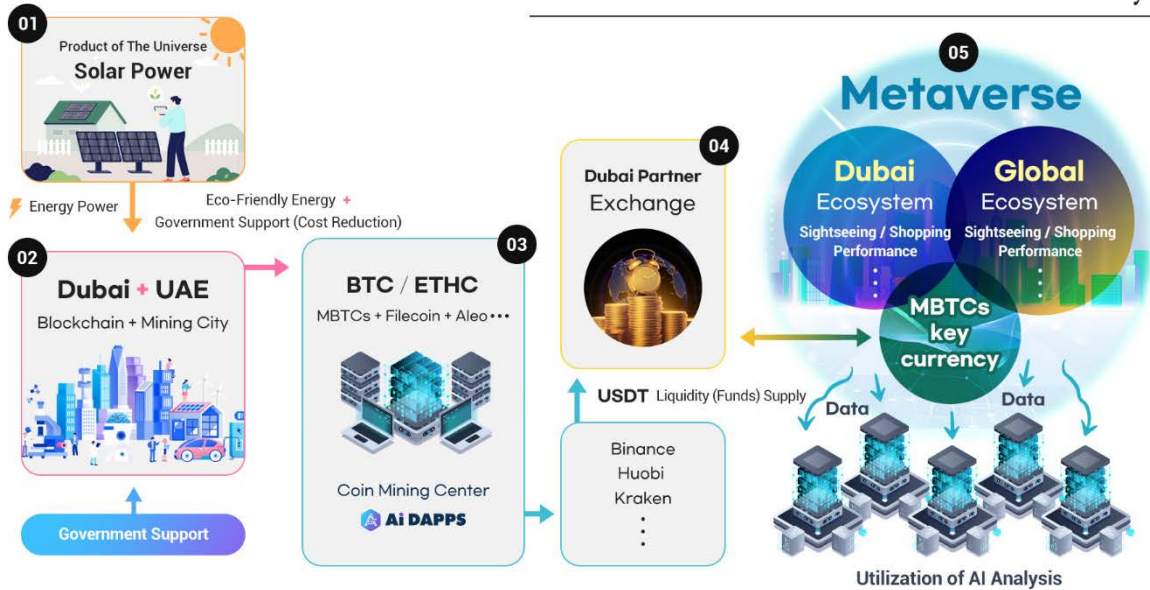
3.1 UAEにエコフレンドリーブロックチェーンメタバース エコシステムを構築

MBTCsはUAE（アラブ首長国連邦）の地理的・気候的特性を活用してグローバルメタバースエコシステムを構築することを目指している。

このためにUAEの地価が安く日射量の高い砂漠地形に太陽光の再生エネルギーを活用できる電力網を構築し、エコフレンドリー電力網を活用してマイニングシティを通じて多様なグローバルコインのマイニングを行う。このようにマイニングされたグローバルコインはUSDT（テザー）でドバイ協力取引所に流動性を供給して取引所を活性化する一方、MBTCsの価値を高める。MBTCsはUAEの社会、経済、文化、芸術、ゲームなどの産業全般を含むメタバースエコシステムの基軸通貨として使われ、これらの産業群を通じて収集されたデータは今後AI（人工知能）分析資料として活用することになる。

このようにMBTCsはエコフレンドリーマイニングシティを通じて流動性を供給し、UAEの中でグローバルメタバースエコシステムを構築し、この仮想空間を通じて観光、文化産業を融合して地域経済を活性化させ、全世界で最も先にブロックチェーン都市になることを目指している。

Dubai is **Blockchain Global** Hub City



[図4] - MBTCsエコシステム構造図

3.2 エコフレンドリー太陽光再生エネルギーの活用

1) 太陽光を活用した電力供給

UAEの高い日射量の気候的特性を活用して、持続可能な再生エネルギーである太陽光を電気に変換してマイニングシティに供給するようにする。



[図5] - 太陽光を活用した電力供給の例

- 現在、UAEは代表的な石油依存型の経済構造および化石燃料生産国であるが、豊富な太陽エネルギーを利用して再生エネルギー拡大政策を積極的に推進している状況で政府政策とも一致している

- 太陽光を電気に変換して供給するため、同じマイニング条件で最大比重を占める電気コストを大幅に削減できる効果がある



3.3 UAEにマイニングシティを構築

1) 太陽光を活用した電力供給

仮想資産に親和的な市場環境と政策、予測可能な事業環境の造成など、政府政策に合致するグローバルコインのマイニングを専門的に遂行するエコフレンドリーグローバルマイニングシティを構築する。

- 膨大なコンピューティングパワーを必要とし、膨大な量の電気を消費するマイニングデータセンターの多数は火力発電に依存しており、環境を汚染するという指摘が持続的に提起されている状況→ 豊かな太陽エネルギーを活用する電力網を構築することで環境を汚染させる指摘から自由になる。



[図6] - エコフレンドリーマイニングシティイメージの例

□UAEドバイは世界初のブロックチェーン都市になるため、2016年から「ドバイブロックチェーン戦略2021」を実行するほど仮想通貨に親和的な国であり、最近グローバル仮想通貨企業はUAEで集まっている状況

- 2022年Binance、FTX、Krakenは、Abu Dhabi Global Market (ADGM)、ドバイのVirtual Assets Regulatory Authority (VARA) から仮想通貨関連ライセンスを取得
- 上記企業はUAEで取引所、ブローカー/ディーラー、受託サービスなど仮想通貨関連事業を進めている

* UAEは2018年に仮想通貨関連法案を制定し、以後金融サービス許可を申請し、審査を通過した仮想通貨業者のみが「仮想通貨運営資格(OCAB)」を得ることができる

□ そのために、マイニングシティー内、内部施設工事とサーバー/ネットワーク機器供給、ソフトウェアインストールなどを通じて複数のマイニングセンターを構築する

- 電気昇圧、冷房・空調施設、セキュリティ、インターネット、恒温・恒湿、ネットワーク工事などを行う

2) マイニングシティー内、様々なグローバルコインのマイニング遂行

マイニングシティーでは、Bitcoin、Ethereum、Filecoin、Aleoなどマイニングが可能な多数のグローバルコインを対象に集中的にマイニングを行うことでコインを獲得するようにする



[図7] - マイニング後の取引所売却によるテザー獲得

- このように獲得したグローバルコインをBinance、Huobi、Krakenなどのグローバル取引所で売り、ステーブルコインのTether（USDT）にすべてで切り替える
- 変えたすべてのTetherはドバイ協力取引所に流入させ、流動性を供給しながら継続的に取引所を活性化させる目的に活用する

3.4 MBTCsの価値向上と流動性供給及びドバイ協力取引所のグローバル化

マイニングしたコインをグローバル取引所で売却して生じたTether(USDT)をMBTCsコインの買収費用として積極的に使用し、MBTCsエコシステム発展のために使用する

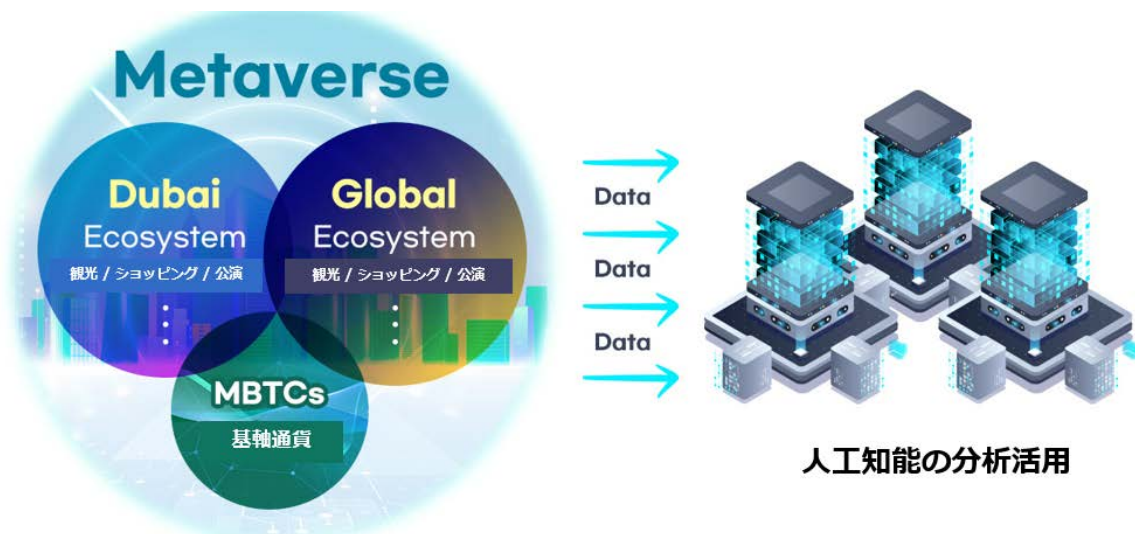


[図8] - 流動性供給構造図

- 上記のようにMBTCsコインを継続的に買収することで、MBTCsの価格上昇と価値を継続的に高めることができる
- MBTCsの価格が上昇するによって、追加の買収が自然に発生し、ユーザーの流入に伴い徐々に流動性が拡大する
- ドバイの協力取引所への流動性が徐々に拡大し、新規資本が引き続き流入することによって、結果的に取引所の活性化と資本の規模は大きくなる

3.5 グローバルメタバース構築によるMBTCsエコシステムの拡張

メタバースは現在、全世界的に経済、社会、文化、芸術分野などに全方位的に影響力を及ぼし、知覚変動を起こしている状況であるこれにMBTCsエコシステム内にメタバース仮想空間を構築し、社会、経済、文化、芸術など全領域でMBTCsコインを活用できるようにするとともに、同時に今後基軸通貨としての役割を果たすようにする



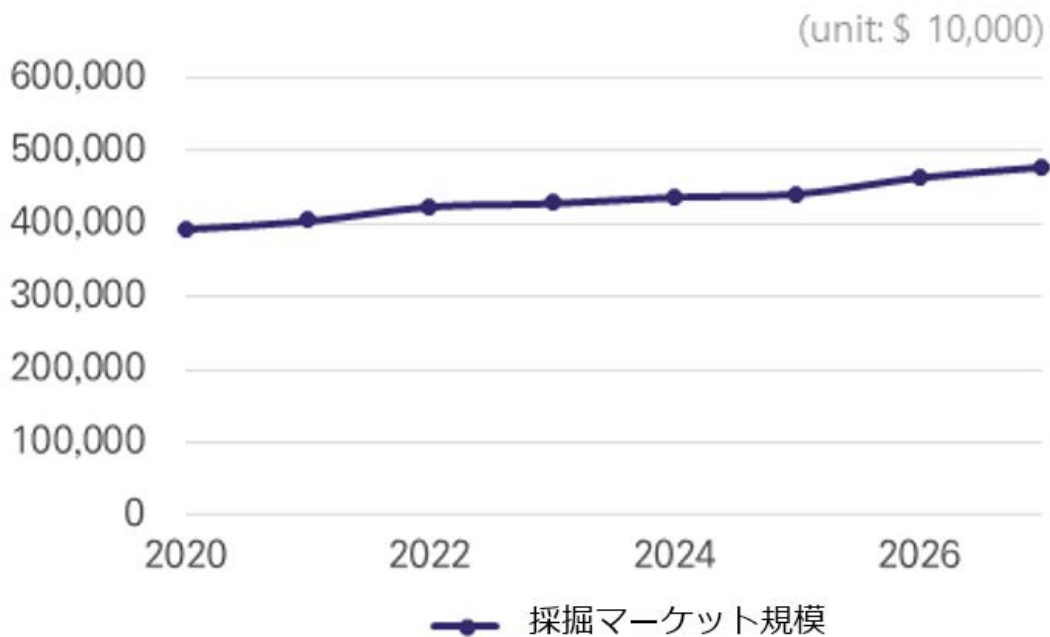
[図9] - 基軸通貨によるMBTCの活用とAI分析

- 特に、仮想空間を通じて該当地域の観光産業を増進し、数多くの雇用を創出できる戦略を計画中
 - このためにはメタバースプラットフォームに地域の観光資源が具現出来るようにし、観光・文化・産業を融合させ、地域経済活性化の踏み石になるように推進する
 - メタバース技術を活用した新たな観光トレンドを作り、観光産業を活性化させ、商圈を復興させるように推進する

- また、社会、経済、文化、教育、ゲームなど多様な領域のメタバースエコシステムで発生するデータのビッグデータ化を通じて、今後の人工知能分析資料として活用する予定

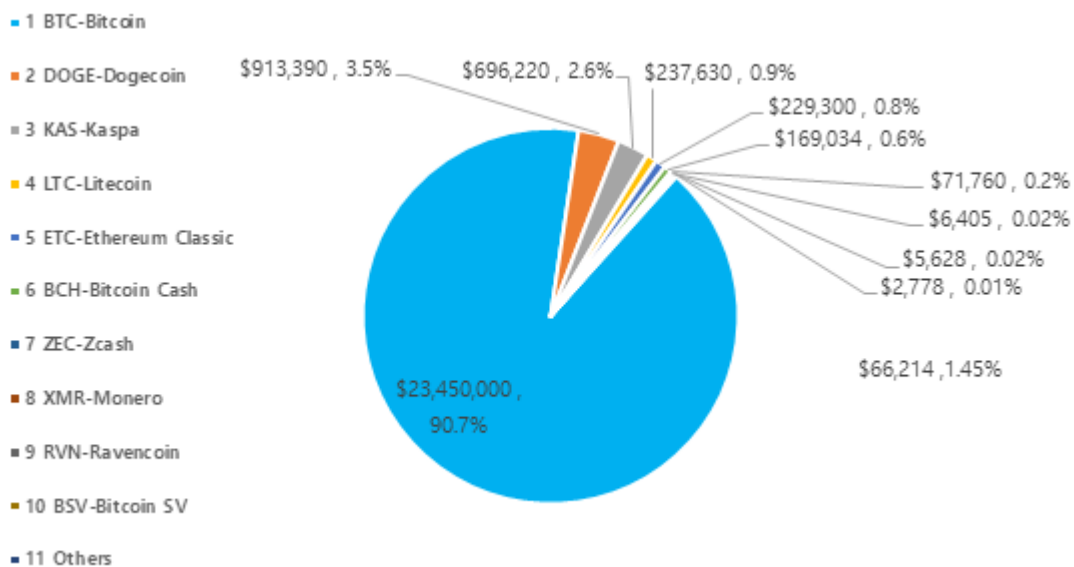
3.6 グローバルマルチマイニングプロジェクト

世界仮想通貨採掘市場は2022～2027年の間に2.8%の年平均複合成長率（CAGR）に拡大し2020年には39億3,654万ドルから2027年までに47億7,241万ドルに成長すると予測している
このような市場規模は採掘機機器の関連市場規模に限られたもので採掘連携事業を制限した市場規模であっても巨大な規模を見せている



[図10]- 2020~2027 採掘市場規模予測

現在POWで採掘されているすべてのコインの1日生産量は\$25,848,359 1日の生産量を基準にコインの順位を並べれば、BTCが1位で全体生産量である\$25,848,359の91%ほどを占めており、以後Doge、KASがそれぞれ3.5%、2.6%を占めている



[図11] - POW採掘コイン毎日生産量ランキング

グローバルマルチマイニングプロジェクトは、このような膨大な採掘生産性をUAEの環境的地理的要因を最大化し、マルチマイニングシステムを活用したリスクヘッジングと分散リバランス技術による柔軟性を確保し、高い収益性と安定性を提供するマルチマイニングシステムを提供したい。

1) 採掘進行の際に考慮すべき外部脅威要素

採掘を進む際に、色々考慮すべきの外部脅威要素が存在するが、これらの脅威要素は次のとおりである。

□ 高い電気代

- 採掘は一般世帯で使用する電力量よりも数百倍以上の電力量が必要である。これによって地域別に差はあるが、累進税が付くのはもちろん、電気生産のためにかかる環境費用に対する責任も負わなければならないという主張も付いている。

□ コイン価格下落

- 採掘コイン価格の下落は投資金額に比べて採算性を下落させて累積する場合、採掘業者及び採掘者に深刻な被害で迫る可能性がある

□ 需要に応じた採掘機の原価上昇

- 採掘に必要なコンピューティングリソース（CPU、GPUなど）は需要弾力性が高く、需要が多くなると急速に価格が上昇する

このようなハードウェアの価格上昇は結局、採掘業者および採掘者にとって予想外の費用として迫ることになる。

□ 採掘技術力

- 採掘を進めるにあたってメインネット、テストネットアップデートによるソフトウェア変更が必要な場合即時に対応できないと財団でペナルティ（不利益）などを受けることになる

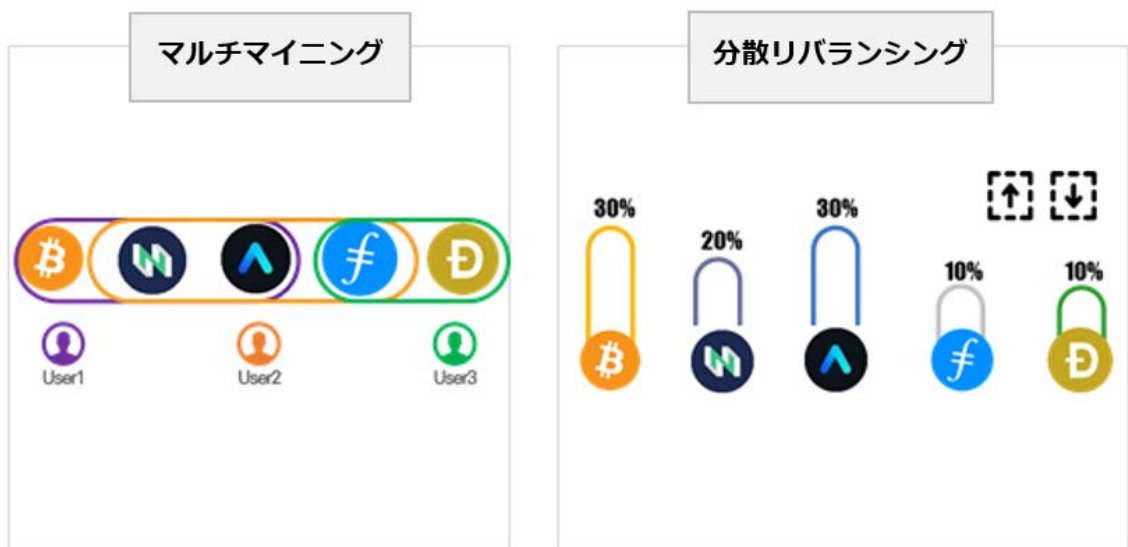
2)外部脅威要素に対するグローバルマルチマイニングプロジェクトの対応策

□ UAEの地理的および環境的要因の活用による電気料金の低下

- U A E の高い日射量の気候的特性を活用し、持続可能な新再生可能エネルギーである太陽光を電気に変換してマイニングシティーに供給するように、コストの中で最も大きな比重を占める電気コストを非常に削減できる効果がある

□ コイン価格下落に対するリスクヘッジの案を設ける

- 様々な採掘プールを運用して一つのコインだけを採掘するのではなく、複数種類のコインを採掘してリスク分散
 - ユーザーの選択に応じてマイニングプールを構成し1つのコインのみを採掘するのではなく、様々なグローバルコインを同時に進めてリスク分散
 - 月1回自分のマイニングプールで採掘したいコインを10%単位で比率を調整して市場環境に対する柔軟性を確保



[図12] - マルチマイニング、分散リバランス技術によるリスクヘッジ

□ 採掘機 の原価上昇に備えた定期的な供給策を設ける

- 定期的な供給契約を通じて安定的な供給策を設け、現在保有している在庫及び、n年間の契約を通じて価格変動を備え

■ 기기 및 부품

- Miner
- Worker
- 광 네트워크 스위치
- 네트워크 부자재

■ IDC 구축

- 서버 구축
- 시스템 구축
- 네트워크 구축



[図13] - マルチマイニング供給機器

□ 採掘専門人材の保有を通じて各コインプロジェクトの更新などに対する備え

- 採掘関連専門人材を保有し、モニタリングを通じて各コイン別アップデートに正確かつ迅速に対応

-Filecoin大容量データキャップは勿論、ALEOなど最近の採掘コインまで行っていた専門人材保有

2) NFTマイニングとビットコイン統合の未来を開拓するMBTC

急激に進化する仮想通貨とブロックチェーン技術の風景から、ビットコインのデジタルツインとして知られるMBTCsという強力な命題を持つ新しいプレイヤーが登場しました。この革新的な資産は、ビットコインの基本原則と代替不可能なトークン（NFT）の最先端の領域を組み合わせ、デジタルマネースペースで重要なマイルストーンを確立しました。

□ MBTCs : ビットコインとNFTを接続します

- MBTCsは、典型的な仮想通貨ではなく、代替不可能なトークンの一意性とセキュリティを提供しながら、ビットコインの属性を反映するように設計されたNFTで生まれたデジタル資産です。各MBTCは、収集品に似たユニークなデジタル資産ですが、元の仮想通貨であるビットコインと価値の相関関係を維持するという原則の下で作動します。

□ NFT採掘の余命

- NFTマイニングは多くの人にとって破格に見える概念ですが、MBTCsは強力な技術力と戦略的先見の明でこの空間を開拓しています。MBTCsマイニングには、採掘者が独自のアイデンティティとビットコインの市場パフォーマンスに関連する固有の価値を持つ独自のデジタルトークンで補償されるプロセスが含まれます。このアプローチは、新しい採掘経験の道を開くだけでなく、新しい資産の蓄積と投資方法を導入します。

□ スワップメカニズム

- MBTCsの最も画期的な特徴の1つは、ビットコインと交換できる可能性です。このメカニズムは、投資家において世界最高の仮想通貨とNFT対応物の間をナビゲートできる柔軟性を提供するため、ゲームチェンジャーとして役割を果たします。スワッププロセスは、ユーザーが投資戦略と市場の動きに合わせてスムーズに保有資産を転換できるように、シンプルさとセキュリティを念頭に置いて設計されています。

□ NFTマイニング分野のリーダーシップ

- NFT採掘のリーダーを自任するMBTCsは、デジタル資産を採掘することが何を意味するのかを再定義する任務を遂行しています。MBTCs採掘プロセスは、エコフレンドリー採掘慣行に対して、増加する需要に合わせてエネルギー効率よく設計されています。また、MBTCsは採掘環境を民主化し、伝統的な採掘コミュニティを超えてより多くの方々がアクセスできるようにすることを目指しています。

□ 信頼できる革新的なベンチャー企業

- デジタルマネーの分野では、信頼と革新は何よりも大事です。MBTCsは最高レベルの信頼性を維持し、透明なプロセス、安全なプラットフォーム、及び将来の明確なビジョンを提供することに専念しています。MBTCsは、ビットコインと直接的な相関関係を持つNFTとして、NFTの可能性に対応しながらビットコインの安定性を活用する信頼できる投資オプションを提供します。

MBTCsは、ビットコインの世界とNFTの興味津々な可能性をマージする新しいデジタル革命の先頭に立っています



IV. Blockchain

4.1 バイナンスメインネットスマートチェーン (BSC)

MBTCsトークンは、MBTCsメインネットが開発されるまでバイナンスのメインネットスマートチェーン (BSC) で作動する。MBTCsトークンとプラットフォームは、以下の理由でバイナンスとパートナーシップを結び、スマートチェーンメインネットを通じてプラットフォーム環境を拡張する計画である。

1) バイナンスの紹介

バイナンス取引所の1日取引量は18兆ウォン以上で、全世界中で最も多くのユーザーを保有した取引所である。バイナンスは、上場が保証された仮想通貨に申し込むことができるIEOサービスを提供し、高い収益創出が可能であり、仮想通貨取引所の携帯電話アプリの中で最も安定して高速を誇る。また、ディファイサービス、ステーキング、レバレッジトークン[ETF]など、最も革新的なサービスを利用者に先に提供する。2022年の現在、バイナンスは取引所が備えるべき基本的なサービスのほか、仮想通貨に関するすべての機能的要素を備えた先駆的なプラットフォームと評価されている。

□ バイナンス・ローンチパッド(Binance Launchpad)

- * Binanceは、独自のブロックチェーンクラウドファンディングプラットフォームBinance Launchpadを通じて新規トークンであるFetch.AI (FET) を開始
- * Fetch.AIは人工知能(AI)をベースに自律的なブロックチェーンエコシス

テム、いわゆるトークンエコノミー(Token Economy)を構築することを目指し、既存のブロックチェーンとは異なるDAGアルゴリズムを採択し、迅速かつ信頼できるマシンラーニングとIoTのソリューションを開発することを目指している

□ バイナンス・ダブ(DApp)

- * バイナンススマートチェーンをベースにした代表的な脱中央化分散アプリケーションには、パンケーキスワップ (Pancake Swap) 、ヴィーナスプロトコル (Venus Protocol) 、オートファーム (Autofarm) 、バーガースワップ (BurgerSwap) 、スパルタンプロトコル (Spartan Protocol) 、クリーム (Cream)) がある
- * Binanceウォレットは、BSCの特定のアプリに対する別のオプションで、Chrome、Firefox、およびBrave用のブラウザ拡張機能として使用でき、見やすく便利なUIがある

2) バイナンスメインネットスマートチェーンのメリット

① 優れた性能

□ デメリットを補完した完結性

- * 高性能脱中央アプリケーション開発のための機能をすべて備えた新しいブロックチェーン
- * バイナンスチェーンとクロスチェーン互換のために構築され、

ユーザーは両方のブロックチェーンで得点を受ける

拡張性

- * 高性能の脱中央ブロックチェーンでBNBステーキングとともにEthereum仮想マシン(EVM)と連動してEthereumベースのツールとデアプリをサポートし、バイナンススマートチェーンでデアプリが運営される
- * Ethereumが持っている問題点であるガス代の場合、Ethereum比92%ほど安く、データ処理速度も約4倍速い

② 低コスト

- 検証された少数のノードのみがブロックを生成出来るように設計されており、手数料が約92%ほど安い
- もし、Ethereumで手数料で1ドルを支払った場合、バイナンススマートチェーンでは0.02ドルを支払うだけ
- 他のプロトコルとは異なって、BNBはインフレが存在しないため、新しく生成されたBNBのブロック補助金は発生しない

③ 迅速な開発

クロスチェーン互換

- * 既存のバイナンスチェーンとは無関係でありながら、これを補完するためのシステムとしてデュアルチェーン構造を使用し、ユーザーは各ブロックチェーン間で自由に資産を転送することができ、これによりバイナンスチェーン上の高速トレーディング機能を使用し、強力な脱中央アプリを構築するこ

とができる

- * バイナンスチェーンのBEP-2とBEP-8トークンは、バイナンススマートチェーンで導入された新しい標準であるBEP-20トークンにスワップでき、BEP-20トークンはEthereumと同じ機能を使用する
- * バイナンスチェーンウォレットを使用してBEP-2からBEP-20に、または逆に簡単に移動することが出来る

□ 柔軟性

- * パンケーキスワップのようなアプリケーションを通じて、ユーザーは認証手続きをせずに、資産を交換することができ（ユニスワップとかなり類似）、ステーキングに参加し、各種提案に投票することができる
- * お互いに異なるブロックチェーン間の相互運用性を高めるためのブリッジプロジェクトを通じて、誰もがバイナンスチェーンとバイナンススマートチェーン上で使用される特定のコインをラップトークン（Wrapped Token）またはペグイン（Peg-in）トークンに切り替えることが可能
- * BTC、ETH、USDT、LTC、XRP、LINK、ATOM、DOTなどのデジタル資産がバイナンスチェーンエコシステムで使用されている
- * バイナンススマートチェーン上のアプリケーションと相互作用が可能なウォレットとしては、バイナンスチェーンウォレット(Binance Chain Wallet)、メタマスク(Metamask)、トラストウォレット(Trust Wallet)、マスウォレット(Math Wallet)、レジャー(Ledger)、トークンポケット(TokenPocket)、ビットキーブ(Bitkeep)、オント(ONTO)、セーフパル(Safepal)、アルケイン(Arkane)などがある

④ 優れたユーザー体験

□ トランザクションのユーザビリティ

- * 手数料の場合、Ethereumと類似のガスシステムが使用され、トランザクションの実行及びスマートコントラクトの策動に必要な演算リソースを反映して計算される。
- * バイナンススマートチェーンネットワークは、権威持分証明合意メカニズムを使用し、ユーザーは検証者になるためにBNBをステーキングし、ブロック検証に成功した場合、関連トランザクション手数料を受け取る

⑤ 強力なブロックチェーンプラットフォーム

- バイナンススマートチェーンメインネットがリリースされる前から、数多くの主要な暗号化プロジェクトが既にバイナンスチェーンコミュニティと協力して、BSCを強力なブロックチェーンプラットフォームとして構築済み
- 協力者は、ブロックチェーンインフラストラクチャとツールプロバイダ、分散金融プラットフォーム、クロスチェーン流動性プロバイダなど、さまざまな産業分野で構成されている



[図 14] - バイナンススマートチェーンプロジェクト *出典: COIN98

⑥ 透明性、セキュリティ、脱中央化

- 誰でもブロックチェーンでトランザクションを要求、照会、確認可能
- バイナンススマートチェーンは脱中央化されたネットワークなので、1つ の悪性のあるノードがデータの完全性を損なうことはできない



V. Token Distribution Plan

MBTCsはエネルギー消費量が「0」（Zero）のNFTマイニングを通じて採掘されるまた、該当NFTをスワップしてマルチマイニングを活用したPOW方式を通じて採掘することができる



[図 15] - MBTCs NFT

MBTCsは合計21,000,000が発行され、MBTCs NFTは合計100,000個が発行され、以下のように構成される

- 40,000 ea (40%): 財団、機関、イベント、エアドロップ、寄付 (Umm Al Quwain社会福祉基金)
- 60,000 ea (60%): プロモーションマーケティングとエコシステムの拡大



VI. Foundation

MAJESTIC INVESTMENTSはSheikh Majid Rashid AL Muallaによって2022年7月に新たに設立され、50億ドル規模の初期資本を通じてUAEの経済エコシステム形成のために世界中で投資家コミュニティをサポートしている。

MAJESTIC INVESTMENTSはMBTCs(Meta BiTCoin Super)を通じてUAEの社会、経済、文化、教育、ゲームなどあらゆる領域を網羅するグローバルメタバースエコシステムを構築し、MBTCsコインをメタバースエコシステムで基軸通貨として活用できるようにすることが最終目標である。

特に、仮想空間を通じてUAEの観光産業を増進させ、数多くの雇用を創出できる戦略を計画する予定である。

- このためにメタバースプラットフォームに地域の観光資源が実装されるようにし、観光・文化・産業を接木して地域経済活性化の踏み石になるように推進

- メタバース技術を活用した新しい観光トレンドを作り、観光産業を活性化させ、商圈を復活させることができるように推進

また、社会、経済、文化、教育、ゲームなど多様な領域のメタバースエコシステムで発生するデータのビッグデータ化を通じて、今後の人工知能分析資料として活用する予定である。



[図 16] - MAJESTIC INVESTMENTS



VII. Disclaimer

1. この白書は、潜在的な購入者達を対象でMBTCsプロジェクトに関する情報を提供し、MBTCsトークンを購入するかどうかを自分で決定できるようにすることを目的としていて、株、証券、あるいは企業の資産やそれに関連するいかなる企業の販売や購買、提供、あるいは要請を構成しない
2. この白書は、MBTCsのビジネス目的とMBTCsプロジェクトに関する情報であるとともに、ブロックチェーン技術に基づくソリューション提供のアプローチに関する情報を提供するために作成され、本白書に含まれている全ての情報はいつでも修正、追加及び保管することが出来る

3. 次の情報は包括的ではなく契約関係に関するいかなる要素も含まない

4. MBTCsの運営主体は、適用される法律、規制、および規則で許可されている最大限の範囲内で、そして本白書に関連するすべての場合においてあなたのいかなる種類の損失にも責任を負わない
これは、収益、収入、利益、権利、評判、またはデータの損失などを含む包括的な損失を意味し、損失に対するいかなる責任も負わない

5. MBTCsトークンはいかなる範囲内でも担保とは見なされず、本白書はいかなる形でも投資書または文書で提供することはできず、有価証券、証券投資および投資家募集などを目的に使用することはできない

6. MBTCsトークン購入者は、購入する前に、MBTCsトークンとMBTCsに関する白書のすべての情報、および法的に拘束力のある契約に関連するすべてのリスクと不確実性を慎重に検討および評価する必要がある財団の財務状態、ビジネス戦略、計画および潜在力に関するすべての内容は未来志向の内容であり、財団またはこの企業に関連する人々またはそのいかなる人も、実際の将来の結果、成果および企業の達成について保証および責任を負わない

7. 本白書の内容を違法に規定した国・地域の場合、内容全体又は一部の複製、修正及び配布してはならない本白書の内容を違法に規定している国・地域の人々が本白書の内容を認知して投資をする場合、そのような投資は本人がリスクを勘案したものであり、財団はそれに対して何ら法的責任を負わない

8. この白書は、MBTCsプロジェクトが推進する事業の完全性を保証しないまた、サービスの提供と開発の過程で発生する可能性のあるエラー、スケジュールの遅延、およびそれに関連する事項について責任を負わない

9. 本白書は今後の計画に対する内容を盛り込んでおり、計画の実現に基づいて作成したただし、これを保証せず、本白書の内容が今後開発完了したサービスの完全性を保証しない

10. 本白書の内容は、いかなる場合においても法律、財務、会計、税務等の等諮問として解釈することはできず、MBTCsトークンを購入及び使用する過程で各国別、地域別政策及び法律に基づき、個

別の法律、財務、会計、税務などの処分が発生する可能性がある購入およびユーザーはそれについて別々の諮問を必要とするが、財団はこれらの事項について責任を負わない

11. 第三者からのシステム攻撃、天災地変及び不可抗力的事由などMBTCsプロジェクトが意図しない理由により生態の組成が遅れたり、その他に有無形の損失が発生することがある購入者の秘密keyの紛失および流出による購入者のリスクについて財団は責任を負わない

12. MBTCsトークンの価値の下落、マーケット環境の変化、不確実性、政治的なリスク・競合他社との競争などを含めてすべてのリスクは自由ではないため、これにより、MBTCsプロジェクトの開発が中断されたり、サービスの方向性と将来の計画が変更される可能性がある

13. 財団は、エコシステムの運営方針および運営の中断を含めてすべての決定事項について他人に委任または譲渡せず、すべての意思決定は財団の自由裁量によって決定される

OUR SIGNATURE

私たちの仕事が世界の姿を変えることができると信じています私たちのチームは、長年の実行経験に基づいて、MBTCs値のすべてのブロックを徹底的に理解しています

THE MBTCs STANDARD

私たちのプロジェクトの成功は私たちの仕事にあります 技術の開発と適用を正確に計画するなど、優れた方法を確立することで、一貫した持続可能なプロジェクトを確実にします

OUR VISION

私たちは単にプロジェクトを作るのではなく、将来を再構築することです

MBTCsに対する私たちの根本的な専門知識と持続的な革新への献身は、私たちを技術発展の最前線に立てました。

緻密に計画された開発と持続可能な方法に基づいて、私たちは信頼と優れた灯火として位置づけられました。

私たちのビジョンは、地域の境界を越えて世界的にMBTCsの分野で最も信頼できる名前になることを願っています。

私たちはすべての努力を単の一步ではなく、より進歩的で信頼できる未来に向かって飛躍する私たちの仕事の革新的な力であることを信じています。

MBTCsに投資することは、単にプロジェクトに資金をサーボトするのではなく、高い可能性と持続可能な未来を約束するビジョンを支持し、私たちを進歩と繁栄の理想的なパートナーに作ります。

一緒にする選択は、私たちと未来を共有する瞬間です。

ありがとうございます。

